

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」

検索

4月23日(土) できることから少しずつ

市内の量販店3か所で熊本地震に対する街頭義援金活動が実施されました。

これは、長浜市のボランティアセンターが市内9つのボランティア連絡協議会と共に実施したもので、小学6年生の男の子も活動に参加し、募金を呼びかけました。

多くの人が足を止め、「自分たちができることを」と被災地の復興を願い、積極的に募金に応じていました。



4月23日(土) 科学の入口に立ちました

長浜バイオ大学の町家キャンパスで「サイエンスカフェ」が開催されました。

長浜バイオ大学の4つの学生グループが主催して実施したもので、科学が好きな子どもたちや観光客らが訪れ賑わいました。

参加した親子や子どもたちは、スライムづくりを楽しんだり、レモンで電気が流れるしくみなどの説明を受けたりしながら、科学の楽しさに触れました。

4月24日(日) 春の里山を満喫

名越町の横山森林公園一帯で春の横山ピクニックが開催されました。

竹の子やこしあぶら、たかのつめなどの野草摘みをし、市内を一望できるビューポイントで眺望も楽しみました。

里山を2時間程度歩いた後、山菜の天ぷらやおひたしなど春の味覚に舌鼓。参加者からは「身近にこんな良い場所があるとは知らなかった。また来たい」との声が聞かれました。



4月24日(日) 華やかな演舞でシーズンイン

JA北びわこ木之本支店駐車場で、よさこい春まつり「賤岳春乱舞」が開催されました。

12回目を数える今年は、県内外から18チームが参加。それぞれのチームの力強い演舞はもちろん、大旗演舞や総踊りなど見どころが盛りだくさん。訪れた人々は、踊り手たちの切れのあるパフォーマンスと笑顔に魅了され、賞賛の拍手を送っていました。

4月29日(金・祝) 心が熱くなる全力のプレー

長浜バイオ大学ドームで第66回目となる長浜ひょうたんボウルが開催されました。

日本で3番目に歴史があり、「春は長浜から」と言われるこの大会。試合は、立命館大学パンサーズが同志社大学ワイルドローバーを30対7で下し、24大会連続優勝を決めました。

同時開催の関西中学選手権では、西中学校、南中学校が出場。スピード感あふれる力強いプレーで観客を魅了しました。



4月29日(金・祝)～5月5日(木・祝) 懐かしのキャラクターがお出迎え

天気予報などで多くの人に親しまれた「ヤン坊マー坊」の展覧会が、ヤンマーミュージアムで開催されました。

数々のグッズを見ながら、「そういえばこれ家にあった」と懐かしむ人、ヤン坊マー坊の愛くるさを新鮮に楽しむ子どもたちで賑わい、世代を超えて楽しめる展覧会となりました。

また、5月4日(水・祝)に来館者数が30万人を突破したのを記念して、6月30日(木)までキャンペーンが催されています。

5月4日(水・祝) 健やかな成長願うこいのぼり 大空に

高月町雨森の高時川堤防にたくさんのこいのぼりが飾られたのにあわせ、「高月こいのぼりまつり」と「雨森こいのぼりマラソン」が開催されました。

約600mにわたって飾られた450匹のこいのぼりと、全長50mの巨大こいのぼりが大空を泳ぐ中、フリーマーケットや様々な模擬店が軒を連ねたほか、子どもたちに大人気のロードトレインも登場。親子連れらが楽しい時間を過ごしました。



5月14日(土)、15日(日) 湖北の魅力を楽しみながら元気にウォーク

初夏の湖北路を歩く人気イベント「びわ湖長浜ツーデーマーチ」が2日間にわたり開催されました。24回目を数える今回は県内外から3,407人が参加。

美しい自然や街並み、歴史の名所などを巡るコース8コースが用意され、参加者らは自然を堪能しながら、それぞれのペースでゴールをめざし、心地よい汗を流しました。